

地域医療を考える会



ことごととて

発行：地域医療を考える会
住所：小林市細野 300 番地
電話：(0984) 22-3008



■宮崎県北の地域医療を守る会で作ったのぼり旗。



■延岡病院の行なっている取り組みについて説明を受ける。



■皆さん熱心に質問をし、メモをとっています。

視察研修で学んだこと

8月28日(土)、地域医療を考える会は、延岡市の「県北の医療を守る会」の活動を学ぶため、視察研修へ行ってきました。



■医療を守る会の福田事務局長の説明を聞く、考える会の参加者。

○さんの感想

延岡市は県立病院、小林市は市立病院という根本的な違いがあるものの、医療確保という点では、見習うべきことが多かった。

★1つ目は、お医者さんを大切にしていること。

医者に感謝の手紙を渡したり、新しく赴任したお医者さんには歓迎の手紙や市内のイベントを紹介して、市民として歓迎している。(親しみのある関係づくり)。また、地区の行事にお医者さんを招待している。

★2つ目は、地域医療を守る責任を分担している。

条例で「市民の責務」、「医療機関の責務」、「行政の責務」を具体的に定めて方針を共有している。

市民の責務としては、お医者さんの過労、疲弊を防ぐために

- かかりつけ医を持つ。
- 安易にコンビニ受診や時間外の受診をしない。(認識を変えよう)
- 医療の担い手(看護師を含む)に信頼と感謝の気持ちを持って受診する。

全体的に、延岡市では市民が一体となって医療問題を真剣にとらえる気運が高まっていると感じました。

我々も今回の視察研修で、多くことを学ぶことができました。

視察研修を終えて

早朝8時30分に市役所を出発した視察団は、天候にも恵まれて一路延岡へ。

延岡の福田事務局長は、「たきぎのう新能」準備や神事やイベント運営で多忙な日程にもかかわらず快く受け入れてくれました。



■延岡に行く車中。皆さんドキドキしています。



■視察終了後に記念撮影、皆さん良い顔になっています。

強行な視察を終え、「地域の医療」という重い課題の研修でしたが、参加者の皆さんの表情が明るく見えます。

きっと、地域医療の抱える共通した課題を見出し、これから小林市で「何を成すべきか」を受け止められた自信のあらわれでしょうか？

それは、行きの車内と帰りの写真の表情の違いではっきりと表れています。見えてきた課題を仲間で共有し、これからも考えていきたいと思えます。

ぜひ皆様にこの会へのご参加とご協力をお願いします。

情報紙の表題に

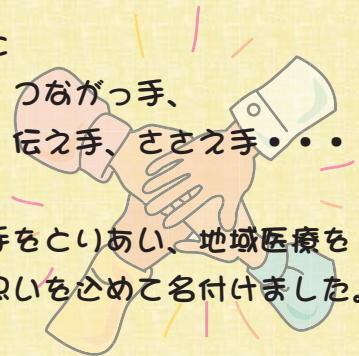
「てとてとて」と

名付けた、私たちの思い

手と手をつなぐと

ぬくもっ手、つながっ手、
広がっ手、伝え手、ささえ手・・・

みんなで手と手をとりあい、地域医療を
守りたいという思いを込めて名付けました。



いっしょに 地域医療について 考え、
より 安心して 健康に生活できる
まちづくり をしていきませんか？

「地域医療を考える会」は、 多くのサポーター・会員を募集します

- ☆ この会に興味をもってくださった方
- ☆ フリーペーパー「てとてとて」をおいていただける方
- ☆ 行事に参加していただける方
- ☆ 講演会等の行事の呼びかけに、協力いただける方
- ☆ 定例会に参加いただける方 etc・・・

小児救急医療電話相談

短縮ダイヤル(携帯電話・プッシュ回線)

8 0 0 0

ダイヤル回線からは **0985-35-8855**

相談時間 **午前7時から午後1時まで**

土・日、祝日のみの実施でしたが、4月1日から毎日実施になります。

夜間急病診療電話案内

平日夜間 **午後7時から午後10時まで**

23-8212

日曜・祝日は **午前9時から正午12時まで**
(原則小児科)

診療対象者 急に具合が悪くなった方で、自力で医療機関に行くことができる程度の症状(入院治療を必要としない初期救急)の方